

悠紀だより



1学期、
ご協力、
ありがとう
ございました！

【学校教育目標】

自ら学び 認め合い 支え合う 健やかな子

文責：校長 野澤 初美



明日から夏休みが始まります

1学期の授業日数が70日(1年生は入学式のため71日)ありました。子ども達のがんばりと、ご家庭のご協力、ご支援のおかげで1学期を終えることができます。ありがとうございました。

学校行事では、校外学習や運動会がありました。行事だけでなく、自分の良さを生かしながら学校生活を積み重ねていました。1年生にとっては、新しい環境でしたが、ご家庭のご協力のおかげもあり、学校生活に慣れてきています。

明日から夏休みが始まります。コロナ感染症が5類に下がり、社会もコロナ禍前と同じ日常が戻りつつあります。感染症や熱中症も含めて、事故や怪我に気をつけて楽しい夏休みをご家庭でお過ごしください。

*石田小 HP に1学期の学校の様子がアップされていますのでご覧ください。なお、夏休み後の校内作品展は、「夏休みの友」の工作や応募作品募集もあるため、今年度より実施しません。

不審者避難訓練「いかのおすし」「いいゆだな」

学校の敷地内に不審者が入ってきたことを想定した訓練を行いました。校内放送で侵入した場合とともに、各教室での避難訓練を行い、その後体育館に全児童が移動し、甲府南警察署の方から不審者対応の話を行いました。

不審者対応の合言葉を教えていただきました。

「いかのおすし」→「いかない・のらない・大声でさけぶ・すぐにはげる・しらせる」

「いいゆだな」→「家のかぎを見せない・家の周りをよく見る・郵便ポストをチェックして郵便物をとっておく
・だれも家にいなくてもただいまと言う・中に入ってすぐ戸締まり」

最後に、「周りに助けってもらうことも大切だけれども、自分の命は自分で守るということを忘れないでほしい」と話していました。これから夏休みに入りますが、子ども達全員が、安全に過ごしてほしいです。



いじめ防止 出前授業「心のコップ」

いじめ防止出前授業を行いました。今回は、3・5・6年生が学年ごとに行いました。(次回も他学年を予定)講師の先生から「どんなことがいじめにつながるのか」「嫌なことがあったときに、どうしたらいいのか」「友達が嫌な思いをしていたら、周りにはどんなことができるのか」など具体例をあげて授業を進めながら、子ども達が「いじめ」について考える時間になりました。「心の中にそれぞれ人によって違ったコップがあって、嫌なことが続くとコップの水が溢れてしまう。スポンジのように、そのいっぱいになった水を吸ってあげることで心の中の嫌なことが減っていく。具体的には、周りにいる人は、その人に寄り添って一緒にいてあげること、大丈夫?と声をかけてあげたり、大人に伝えたりしてあげること、そして、自分からも友達や家族、先生、大人に伝えてほしい。」と子ども達に話をしてくれました。

